

九州大学 東アジア環境研究機構
砂漠化防止グループ主催 研究集会

「砂漠化進行地域の灌漑畑の 塩類化防止技術」

日 時 平成21年11月21日(土)
10:00～15:00

場 所 九州大学農学部2号館5階502教室

講 演

- 10:00～10:05 開会挨拶 小林哲夫(九州大学農学研究院)
- 10:05～10:40 「灌漑畑周辺における塩類の空間的・時間的变化」
安武大輔(高知大学農学部)
- 10:40～11:15 「中国乾燥地域におけるトウモロコシ畑の土壌水分移動解析」
長 裕幸、田川堅太(佐賀大学農学部)
- 11:15～11:50 「モニン・オブコフの相似理論を用いた裸地畑の粗度長の決定」
森 牧人(高知大学農学部)
- 11:50～12:15 「半乾燥地黄河水灌漑圃場における土と水の塩類化とソーダ質化」
王維真(中国科学院)
- 12:15～13:15 昼休み
- 13:15～13:40 「黄河流域灌漑畑における排水路からの塩類滲入が土壌の塩類
およびトウモロコシの生長に及ぼす影響」
荒木卓哉(愛媛大学農学部)
- 13:40～14:05 「黄河流域における現地観測の開始と周辺の気象環境」
吉越 恒(山口大学農学部)
- 14:05～14:40 「砂漠化進行地域の畑作土壌への塩類集積に対する作物の
物質吸収機能の影響」
北野雅治(九州大学農学研究院)
- 14:50～15:00 総合討論

(担当:気象環境学研究室:北野雅治)